

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	日本のエリートアスリートにおける左室肥大スクリーニング基準の検討
倫理審査委員会承認番号	2021-065
研究開始日	2022年2月1日
研究終了日	2024年3月31日
研究目的	エリートアスリートは高強度かつ長期間のトレーニングを行うことによって、左室肥大などを来たしやすいたことが報告されています。本研究の目的はJISSスポーツメディカルセンターで施行された心臓超音波検査のデータを用いて、アスリートの左室肥大などに関する簡便かつ感度の高い評価方法を確立することです。
研究対象者	JISSスポーツメディカルセンターにおいて心臓超音波検査を実施した高校生以上のアスリートを対象とします。但し、心臓超音波検査を複数回行っている場合には、最も新しい記録のみを用います。
研究概要	<p>エリートアスリートに見られる左室肥大などの形態異常は通常可逆的であり、競技生活の終了と共に改善を認めることが多いですが、一部のアスリートはこの変化が残存することがあり、それにより長期的な高血圧発症や心血管疾患へのリスクが高くなる可能性があります。加えて、形態異常の原因として肥大型心筋症等の心筋症が潜んでいることもあります。そのため、健康状態への影響を考慮し、競技生活中の心形態の評価を行うこと重要と考えられますが、日本でエリートアスリートに大規模かつ精度の高い心臓形態の評価を行った研究がこれまでに無いため、基礎データが存在しません。</p> <p>そこで、①これまでに実施した心臓超音波検査結果の解析を行い、データベースを構築する。 ②胸部レントゲン検査及び心電図検査の結果と心臓超音波検査の結果を比較検討し、左室肥大を心電図やレントゲン所見から予測するための基準を求めること。 を行います。</p>
研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、競技種目、心臓超音波検査データとして左室心室中隔厚、左室後壁厚、左室拡張末期径、左室重量、左室重量係数、左室駆出率、胸部レントゲンデータとして心胸郭比、心電図データとしてPQ時間、P波高、QRS時間、R波高、S波高、T波高、QT時間
研究の資金源 研究に係る利益相反及び個人の収益	<p>○本研究の資金源は、JISS内予算です。</p> <p>○本研究に係る利益相反や個人の収益はありません。</p>
研究責任者	蒲原一之・スポーツメディカルセンター
研究分担者	<p>足利光平・スポーツメディカルセンター非常勤医師 友利杏奈・スポーツメディカルセンター 真鍋知宏・スポーツメディカルセンター非常勤医師 遠藤直哉・スポーツメディカルセンター非常勤医師</p>
問合せ先	<p>足利光平・スポーツメディカルセンター非常勤医師 電話番号：044-977-8111 メールアドレス：k2ashikaga@marianna-u.ac.jp</p>